



認知症サポーター
養成講座

認知症サポーターは認知症の正しい知識を持ち、認知症の方や家族を温かく見守る応援者です。認知症の方が安心して暮らせるまちづくりを共に目指しましょう。

■1月29日(木)

■午後2時～3時30分

■会場 地域包括支援センターエレガントもむら出張所(東長沼41)

■定員 10人(申込先着順)

■申込 電話(1月16日(金)午前9時～)

■先問 地域包括支援センターエレガントもむら ☎379・5500

お口の機能向上教室
2日間コース

「飲み込みづらい」「むせる」



▲教室の様子

はじめての遺言書の
書き方講座

行政書士が遺言の種類や効力、書き方について説明します。自分や親の判断能力が低下する前に遺言書を作り、元気なうちに備えることで、安心して老後を過ごせます。

■1月28日(水)

■時間 午後2時～4時(受付=午後1時30分～)

■会場 地域振興プラザ4階会議室

■講師 井上 貴博氏(行政書士)

■申込 フォーム(右記参照)

■先問 市民協働課市民相談係



市長コラム

No.167

令和7年
稲城市10大ニュース

昨年の海外の出来事を振り返って見ますと、ロシアによるウクライナ侵略から3年目に入り、2年が経過したイスラエルとイスラム主義組織ハマスの戦闘は10月米国の仲介で戦闘停止が合意されたものの、未だ両地域の収束は見通せない状況です。

台湾では7月最大野党の国民党立法委員24人を対象としたリコール住民投票が実施されましたが全て不成立となり、頼清徳政権に打撃となりました。

7月参議院議員選挙が行われ自民・公明の与党が過半数を割り込み、衆参ともに少数与党となり政局の混乱を招きました。9月責任をとって石破首相が退陣を表明、10月自民党総裁選挙では高市早苗氏が当選し、衆参両院で憲政史上初の女性首相に選出されました。

8月夏季休暇期間中に稲城市から初めて高校生6人を派遣し、交流を深めた。

10周年を記念してIのまちなぎ市民まつりに両首長をお招きし記念品の贈呈を行った。

以上が令和7年の10大ニュースです。番外として、3月に東京ジャイアンツタウンの中核となるジャイアンツスタジアムが開業され、巨人軍ファーム球場としてのみならず、女子野球・大学野球・高校野球・ソフトボールのリーグ戦や各種スポーツイベントに活用され、市外から多くの選手・観客が訪れ、賑わいを創出しています。市では都補助金を活用した大型文字サインの設置、公式戦・イベントに市立病院看護師の派遣等公民連携を進めております。

以上のように昨年も国内外・市内で様々な出来事がございました。引き続き市政の安定と発展に向けて努力してまいります。

米国では1月ワシントンで就任式が行われドナルド・トランプ氏が第47代大統領として2期目の政権を始動しました。パリ協定からの再離脱、WHOからの脱退等、矢継ぎ早に大量の大統領令を発し、4月「相互関税」の名目で従来の一律10%関税について相手国の非関税障壁に応じた追加税率を上乗せすると発表して世界各国に大混乱を招きました。

その一方で、世界各地の紛争停止には精力的に取り組みました。

韓国では令和6年12月の戒厳令宣布をめぐって現職の尹錫悦大統領が1月に逮捕され、6月に実施された大統領選挙で左派系「共に民主党」の李在明前代表が当選しました。日韓関係が再度冷え込むことが心配されましたが、これまでのところ未来志向の方針で、新たな軋轢は発生していないようです。

2 稲城市まちづくり条例の制定
都市計画・まちづくりに関する住民参加や開発事業における調整の仕組み等を定めた条例を制定、令和8年4月に施行する。

3 姉妹都市フオスターシティ市へのホームステイを実施
8月夏季休暇期間中に稲城市から初めて高校生6人を派遣し、交流を深めた。

4 妊婦のための支援給付事業を開始
出産・育児の相談を受けると共に妊娠時・出産時に各5万円を給付する事業を開始した。

5 市立中学校の部活動に関する方針を策定
令和4年度から実施した実態調査やアンケート結果を踏まえ10月に方針を策定し、教員の負担軽減と学校部活動体制維持の両立を図る。



▲フオスターシティ市へのホームステイ



▲いなぎ里山レンジャー発足式



▲稲城市長 高橋 勝浩



▲ジャイアンツスタジアム開業